

東京 11 発走 15:45

第2回 サウジアラビアロイヤルカップ(C) (2歳・オープン) 国際競馬(馬齢)

グリーンチャンネル解説者 黒津 紳一 桧原 正行

直線半ばまで持ったま... 前走千六勝ちの馬に注目

東京 11R TMイチ推し③クライムメジャー

11Rロジューン 美坂 助手 55.1 40.5 12.2 馬なり

①ロジューン 美坂 助手 55.1 40.5 12.2 馬なり

②パリンジャ 南W箱 71.6 55.8 41.6 13.6馬なり併

③クライムメジャー 栗坂 Mデ 54.7 39.7 12.8 馬なり

④パインドラ札ダ箱 6F86.8 70.8 55.5 40.6 13.2馬なり

東京リーディングジョッキー (2016年6月26日終了現在)

⑤サイウング南W箱 53.3 38.7 12.9馬併

⑥サイウング南W箱 53.3 38.7 12.9馬併

⑦パリンジャ 南W箱 71.6 55.8 41.6 13.6馬なり併

⑧サイウング南W箱 53.3 38.7 12.9馬併

⑨サイウング南W箱 53.3 38.7 12.9馬併

⑩サイウング南W箱 53.3 38.7 12.9馬併

馬券表 (馬名、性齢、斤量、成績、馬主、調教師、厩舎)

芝1600 東京競馬場

馬単 (1着 2着 3着)

3連複 (1着 2着 3着)

展開 (1着 2着 3着)

展開 (1着 2着 3着)

本紙の見解 素質高いダンビュライ

馬番	馬名	性齢	調教	騎手	成績	対決	対時	対重
1	ロジック	牡4	藤原	若中	1	0	0	0
2	バリン	牡4	藤原	若中	1	0	0	0
3	クラン	牡4	藤原	若中	1	0	0	0
4	サキ	牡4	藤原	若中	1	0	0	0
5	サキ	牡4	藤原	若中	1	0	0	0
6	サキ	牡4	藤原	若中	1	0	0	0
7	サキ	牡4	藤原	若中	1	0	0	0
8	サキ	牡4	藤原	若中	1	0	0	0
9	サキ	牡4	藤原	若中	1	0	0	0

柏木の単連

仕上りの早さではなく、パンチあふれるスケールで勝ち上がったクランメジャーは、強力なバネを秘める。開幕だけに、雨の影響はあっても大きなロスはない。

スタップ予想

4差と良く頑張った。東京十六の方がむしろ展開向きで、6プレスジャニー「力ある」。

音無師

2週続けて馬場が悪くラスト13秒台だったが、今週はアンビシャスに食らいついてきた。能力は十分。バネのある走りでのいい勝負力がある。良馬場での走りを見てみたい。

武市師

出走遅れ道中引っかかりの前走も、今回は脚を使っている。中間は馬の後ろに入れた調整を工夫している。左回りの広いコースの方が競馬はしやすいから。

尾形師

前走が案外の内容だったけど、体調自体は悪くない。今回は新馬調と同じ左回りの千六になる。少しでも上の着を目指して頑張してほしい。

血が騒ぐ山野浩

スプリンターズSは1着から11着までがカタカナ着差となり、人気く分着差となった。その後どうん尻前までカタカナ着差が続き、最後のサクゴスベルだけが横に馬がいないゴールインをしている。全馬の絵着差も1秒以下だった。

成績欄の馬場状態

ひと開催2日間以内で、「1中2」とあるのは、1回中山2日目の良馬場を示す。不良馬場なら2となり、重馬場なら3となる。

馬番	馬名	成績	馬場
1	ロジック	1	2
2	バリン	1	2
3	クラン	1	2
4	サキ	1	2
5	サキ	1	2
6	サキ	1	2
7	サキ	1	2
8	サキ	1	2
9	サキ	1	2

1戦1勝馬の成績

馬番	馬名	成績	馬場
1	ロジック	1	2
2	バリン	1	2
3	クラン	1	2
4	サキ	1	2
5	サキ	1	2
6	サキ	1	2
7	サキ	1	2
8	サキ	1	2
9	サキ	1	2

東京芝1600m

ジョッキータイト

馬番	馬名	成績
1	ロジック	1
2	バリン	2
3	クラン	3
4	サキ	4
5	サキ	5
6	サキ	6
7	サキ	7
8	サキ	8
9	サキ	9

競馬人情

うれしいことがあった。それをここに書いてはいけないような気がしますが、書きずにはいらぬ。お許し下さい。

「昭和55年11月23日の天皇賞プリテイキャストが大逃げで勝ったレースが私の競馬のスタートとなり、お産の費用は、それで済ませました。」

サウジアラビアロイヤルC

過去5回の成績

馬番	馬名	成績
1	ロジック	1
2	バリン	2
3	クラン	3
4	サキ	4
5	サキ	5
6	サキ	6
7	サキ	7
8	サキ	8
9	サキ	9

マカヒキの挑戦した凱旋門賞

愛のオプライン既告の4歳牝馬ファウンド(父ガリレオ)が、2016年11月13日のエウ王杯に、20日のマイルCにも3出走。両レースに英、愛、仏、独の外馬馬が計11頭も登録した。エウ王杯は1011年にムーア騎手のスノーフェアリーが連覇している。

凱旋門賞はガリレオ産駒のワンツースリー

マカヒキ(マカヒキ)着もデビュー(マカヒキ)着もデビューインパクト産駒のワンツースリーだった。そしてガリレオ産駒は「日本の野芝には合わない」ことがハッキリしているわけだから、やっぱり競馬は強い弱いはなく向き不向きという

勝負の一手

最後は辛勝の前走だが、千四通過ラップは1分25秒1。発馬地点が芝がタートの違いはあるが、同日の未勝利戦千四でポンテファブリチオが5馬身差圧勝を飾った時計が1分26秒0だから、その値が1分26秒0。引き続きの減量起用。距離短縮でスピード全開といきたい。

《成績欄に前半3F時計》

成績欄の通過順の右横に「各馬の前半3ハロン通過時計」を表記してあります。各馬のタイムの比較検討に役立てていただければ幸いです。なお、レースの流れは、馬体重の横に「H」ハイ、M「平均」、S「スロ」のそれぞれ馬丸開み表記で示してあります。

《拡張率について》

中央競馬以下の勝馬投票法との拡張率は以下の通りです。

- 単勝・複勝：80.0%
- 馬連・馬連複：75.0%
- 3連単：72.5%
- WIN5：70.0%
- JRA日本中央競馬会

野芝の短距離戦では差がつかない

のが常ではあるが、ここまで極端なのは珍しい。かなりハイレベルなメンバーが揃っていたのに、この着差に勝馬のレートも低くなり、G1を維持できるレースレートが稼げなくなってしまう。これは深刻な問題といわねばならない。

マカヒキの挑戦した凱旋門賞

愛のオプライン既告の4歳牝馬ファウンド(父ガリレオ)が、2016年11月13日のエウ王杯に、20日のマイルCにも3出走。両レースに英、愛、仏、独の外馬馬が計11頭も登録した。エウ王杯は1011年にムーア騎手のスノーフェアリーが連覇している。

凱旋門賞はガリレオ産駒のワンツースリー

マカヒキ(マカヒキ)着もデビュー(マカヒキ)着もデビューインパクト産駒のワンツースリーだった。そしてガリレオ産駒は「日本の野芝には合わない」ことがハッキリしているわけだから、やっぱり競馬は強い弱いはなく向き不向きという

勝負の一手

最後は辛勝の前走だが、千四通過ラップは1分25秒1。発馬地点が芝がタートの違いはあるが、同日の未勝利戦千四でポンテファブリチオが5馬身差圧勝を飾った時計が1分26秒0だから、その値が1分26秒0。引き続きの減量起用。距離短縮でスピード全開といきたい。

野芝の短距離戦では差がつかない

のが常ではあるが、ここまで極端なのは珍しい。かなりハイレベルなメンバーが揃っていたのに、この着差に勝馬のレートも低くなり、G1を維持できるレースレートが稼げなくなってしまう。これは深刻な問題といわねばならない。

マカヒキの挑戦した凱旋門賞

愛のオプライン既告の4歳牝馬ファウンド(父ガリレオ)が、2016年11月13日のエウ王杯に、20日のマイルCにも3出走。両レースに英、愛、仏、独の外馬馬が計11頭も登録した。エウ王杯は1011年にムーア騎手のスノーフェアリーが連覇している。

凱旋門賞はガリレオ産駒のワンツースリー

マカヒキ(マカヒキ)着もデビュー(マカヒキ)着もデビューインパクト産駒のワンツースリーだった。そしてガリレオ産駒は「日本の野芝には合わない」ことがハッキリしているわけだから、やっぱり競馬は強い弱いはなく向き不向きという

勝負の一手

最後は辛勝の前走だが、千四通過ラップは1分25秒1。発馬地点が芝がタートの違いはあるが、同日の未勝利戦千四でポンテファブリチオが5馬身差圧勝を飾った時計が1分26秒0だから、その値が1分26秒0。引き続きの減量起用。距離短縮でスピード全開といきたい。

《成績欄に前半3F時計》

成績欄の通過順の右横に「各馬の前半3ハロン通過時計」を表記してあります。各馬のタイムの比較検討に役立てていただければ幸いです。なお、レースの流れは、馬体重の横に「H」ハイ、M「平均」、S「スロ」のそれぞれ馬丸開み表記で示してあります。

《拡張率について》

中央競馬以下の勝馬投票法との拡張率は以下の通りです。

- 単勝・複勝：80.0%
- 馬連・馬連複：75.0%
- 3連単：72.5%
- WIN5：70.0%
- JRA日本中央競馬会

野芝の短距離戦では差がつかない

のが常ではあるが、ここまで極端なのは珍しい。かなりハイレベルなメンバーが揃っていたのに、この着差に勝馬のレートも低くなり、G1を維持できるレースレートが稼げなくなってしまう。これは深刻な問題といわねばならない。

マカヒキの挑戦した凱旋門賞

愛のオプライン既告の4歳牝馬ファウンド(父ガリレオ)が、2016年11月13日のエウ王杯に、20日のマイルCにも3出走。両レースに英、愛、仏、独の外馬馬が計11頭も登録した。エウ王杯は1011年にムーア騎手のスノーフェアリーが連覇している。

凱旋門賞はガリレオ産駒のワンツースリー

マカヒキ(マカヒキ)着もデビュー(マカヒキ)着もデビューインパクト産駒のワンツースリーだった。そしてガリレオ産駒は「日本の野芝には合わない」ことがハッキリしているわけだから、やっぱり競馬は強い弱いはなく向き不向きという

勝負の一手

最後は辛勝の前走だが、千四通過ラップは1分25秒1。発馬地点が芝がタートの違いはあるが、同日の未勝利戦千四でポンテファブリチオが5馬身差圧勝を飾った時計が1分26秒0だから、その値が1分26秒0。引き続きの減量起用。距離短縮でスピード全開といきたい。

野芝の短距離戦では差がつかない

のが常ではあるが、ここまで極端なのは珍しい。かなりハイレベルなメンバーが揃っていたのに、この着差に勝馬のレートも低くなり、G1を維持できるレースレートが稼げなくなってしまう。これは深刻な問題といわねばならない。

マカヒキの挑戦した凱旋門賞

愛のオプライン既告の4歳牝馬ファウンド(父ガリレオ)が、2016年11月13日のエウ王杯に、20日のマイルCにも3出走。両レースに英、愛、仏、独の外馬馬が計11頭も登録した。エウ王杯は1011年にムーア騎手のスノーフェアリーが連覇している。

凱旋門賞はガリレオ産駒のワンツースリー

マカヒキ(マカヒキ)着もデビュー(マカヒキ)着もデビューインパクト産駒のワンツースリーだった。そしてガリレオ産駒は「日本の野芝には合わない」ことがハッキリしているわけだから、やっぱり競馬は強い弱いはなく向き不向きという

勝負の一手

最後は辛勝の前走だが、千四通過ラップは1分25秒1。発馬地点が芝がタートの違いはあるが、同日の未勝利戦千四でポンテファブリチオが5馬身差圧勝を飾った時計が1分26秒0だから、その値が1分26秒0。引き続きの減量起用。距離短縮でスピード全開といきたい。

《拡張率について》

中央競馬以下の勝馬投票法との拡張率は以下の通りです。

- 単勝・複勝：80.0%
- 馬連・馬連複：75.0%
- 3連単：72.5%
- WIN5：70.0%
- JRA日本中央競馬会